別記様式第3の1

授業料免除申請書（前期分）

記入例

平成 30 年 3 月 1 日（提出日）

提出日を記入すること

鹿屋体育大学長 殿

☑前・後期一括申請　□前期のみ申請　注：

※前・後期一括申請を選択した場合も、後期授業料免除申請[illegible]。

（注）太枠の欄を記入すること。※印は、該当するものを〇で囲むこと。

本人が署名する。

保護者等が署名する。

申請者本人	学籍番号	1	5	〇	〇	〇	〇	入学年度	平成	28	年度	※	入学	編入学			
	※	体育学部				※	スポーツ総合		武道			課程	3	年次			
	※	体育学研究科				※	修士		博士後期			課程		年次			
	住所（〒891－2311） 鹿屋市白水町1鹿屋体育大学学生宿舎F棟314号室																
	フリガナ 氏名（申請者本人が記入）							カノヤ　ハナコ 鹿屋　花子									
	携帯電話 080－〇〇〇〇－〇〇〇〇							メールアドレス hanako@i.softbank.ne.jp 携帯電話のメールアドレスを記入する場合は、本学のドメインの一部「nifs-k.ac.jp」からのメールを受信できるよう予め設定すること。									
	その他連絡先 ※自宅・職場・その他（　　） 0994-〇〇-〇〇〇〇																
保証人	住所（〒〇〇〇－〇〇〇〇　　） 鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇丁目〇番地																
	フリガナ 氏名（保証人本人が記入）							カノヤ　バラコ 鹿屋　薔薇子				続柄	母				
	電話　099 － 2〇〇 － 〇〇〇〇							携帯電話　080 －　〇〇〇〇－〇〇〇〇									

＊学籍番号が未定の新入生は受験番号を右つめで記入してください。

授業料納付が困難なため、平成30年度前期分授業料を免除下さるよう、関係書類を添えて申請いたします。
なお、申請書及び証明書等の記載内容に事実と相違があった場合は、授業料の免除を取り消されても異議はありません。

・申請理由（いずれかに〇を付けてください。）　(1.)経済的理由　2. 学資負担者の死亡　3. 風水害等　4.その他

・申請理由詳細（授業料の免除申請をするに至った理由を申請者本人が具体的に記入してください。

昨年に両親が離婚し、現在、私の家族は母1人と祖父母、兄弟3人です。父親からは、その間、養育費は全くありません。
母親は、雑貨店を営んでいますが、近所に大型店が進出したことで売上が激減し、営業不振に陥っています。姉は最近、
就職しましたが、自分のことで精一杯で家計の助けになりません。また、祖母が介護施設へ入所しており、兄弟3人の学
費と祖母の入所費用が嵩み、収入の少ない家計に大きな負担となっています。
限られた収入だけでは家族が生活していくことだけで精一杯で授業料を支払うことは、極めて困難です。

休学歴	（注）休学が「有」の者は、必ずその理由を具体的に（　）内に記入してください。	
	※有・無	平成　年　月　日～平成　年　月　日（休学の理由：　）
		平成　年　月　日～平成　年　月　日（休学の理由：　）
		平成　年　月　日～平成　年　月　日（休学の理由：　）

（注）授業料免除を申請した者は、許可・不許可の通知があるまで授業料を納付しないこと。

受付	第1回のチェック	PC入力	第2回のチェック
印	印	印	印

家庭調書

□色の欄に記入または丸で囲むこと。※大学記入欄は記入しないこと。
太枠の欄に記入すること。（注）※印は、該当するものを○で囲むこと。

申請者本人	通学区分 ※ 自宅 ・ 自宅外	【平成29年度奨学金受給状況について】 ※給付型奨学金の貸与 ※ 有 ・ 無 奨学金名称（○○財団奨学金 ） 給付期間（ 29年 4月～ 30年 3月）月額（30,000円）	大学記入欄 受給額（年額・千円） 千円未満切捨て （実受給額）

	続柄	氏　名	年齢	現在の職業	現職の採用年月日	給与収入の計（税込・千円）	給与収入以外の所得の計（税込・千円）
申請者本人		鹿屋　花子					
就学者を除く家族	父		才		年　月 採用		
	母	鹿屋　薔薇子	51才	自営業	22年　4月 採用		
	祖父	鹿屋　邦夫	76才	農業	10年　4月 採用		
	祖母	鹿屋　タツ	75才	なし	年　月 採用		
	姉	鹿屋　民子	25才	会社員	27年　3月 採用		
			才		年　月 採用		

同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者全員を記入すること。独立生計を営む兄弟姉妹及び 生計を一にしていない別居の祖父母等は記入する必要はない。

大学記入欄

	続柄	氏　名（年齢）	設置区分	在学学校（学年）	通学区分	前年度の授業料免除状況（国立学校の就学者のみ記入）前期	後期	授業料年額（千円）
就学者（申請者本人を除く）	兄	鹿屋　一郎 （２２才）	※国立 公立 私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等課程) 7:専修学校（専門課程） 学校名 国立大学法人鹿児島大学 （平成26年度4月入学）（4年）	※自宅 自宅外	※全免 半免 なし	※全免 半免 なし	
	弟	鹿屋　次郎 （１８才）	※国立 公立 私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等課程) 7:専修学校（専門課程） 学校名 ○○専門学校 （東京都） （平成29年度 4月入学）（ 1年）	※自宅 自宅外	※全免 半免 なし	※全免 半免 なし	
	弟	鹿屋　三郎 （１５才）	※国立 公立 私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等課程) 7:専修学校（専門課程） 学校名鹿児島市立○○高校 （平成29年度 4月入学）（ 1年）	※自宅 自宅外	※全免 半免 なし	※全免 半免 なし	
		（　才）	※国立 公立 私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等課程) 7:専修学校（専門課程） 学校名 （平成　年度　月入学）（　年）	※自宅 自宅外	※全免 半免 なし	※全免 半免 なし	

各種学校、予備校、専修学校の一般課程、防衛大学校等や大学の研究生、聴講生、科目等履修生等は就学者に該当しないので、上記の「就学者を除く家族」欄に記入すること。高校生以上の就学者またはその他の学校等に通う者は在学証明書を必ず提出すること。

家族数　　人

学資負担者の死亡	続柄（　） 死亡年月日：平成　年　月　日			
児童手当受給状況	※ 有 ・ 無 有の場合、受給者（　）名　受給者続柄：（	学力	適格・不適格	.
生活保護受給状況	※ 有 ・ 無 受給者続柄：（　）	学力の特例	該当無し・母子父子世帯・被保護世帯・障がい者（本人）・被爆者の子弟	
特別控除関係 母子世帯・父子世帯	※ 母無 ・ 父無 ※ 死亡 ・ 生別 （ 14年 11月）	該当 ・ 非該当		
障がい者のいる世帯	続柄（　）※障がい者（　級） ※原爆被爆者（障がい 有・無）	人		
	続柄（　）※障がい者（　級） ※原爆被爆者（障がい 有・無）			
長期療養者のいる世帯（６ヶ月以上）	続柄（　）、療養期間　年　月から長期療養 療養費（　円）	年額（千円）		
	続柄（　）、療養期間　年　月から長期療養 療養費（　円）	年額（千円）		
火災・風水害・盗難等の被害を 受けた世帯	災害年月日（　年　月　日） ・被害内容（　）・被害額（　円）	年額（千円）		
学資負担者が別居（転勤、家族の介護等）している世帯	住居・光熱費等（　円）	年額（千円）		
学資負担者が無職・失職の場合	その年月（　年　月） 理由（　） 生活費の出所（　） 就業見込み（ 有 ・ 無 ）			

『家庭調書』記入上の注意

※給付型のみ記入すること。
前年度の奨学金受給の有無、及び本人が前年度1年間（平成29年4月～平成30年3月）に受給した、給付型の奨学金名称、給付期間、月額について記入する。

就学者以外の同一生計の家族を記入する。「現在の職業」欄は無職・専業主婦の場合は空欄にせず、その旨を記入する。前年1月1日から申請時までに父又は母が死別・生別の場合は括弧で囲み氏名を記入する。

4月1日現在の就学者について記入する。
3月卒業（見込み）及び4月入学（見込み）の兄弟等に注意すること。
「○○大学校」「予備校生」「大学の研究生」「聴講生」「科目等履修生」「訪問研究員」等は就学者に該当しな為、就学者を除く家族欄に記入すること。

専修学校の場合は正式の学校名を記入し，所在都道府県名を（　）書きにする。

兄弟等の就学者（義務教育は除く）については必ず「在学証明書」又は「授業料免除状況証明書」を提出すること。
進学が未確定の場合は，鉛筆書きで予定を記入し，確定後在学証明書提出の上，清書する。

学資負担者が申請前6ヶ月（新入生は入学前1年）以内に亡くなった場合のみ続柄と死亡年月日を記入する。

父又は母が死亡・生別の場合は該当箇所に○を，死亡・生別となった年月を記入する。

障害者手帳等の証明書類により記入する。
原爆被爆者については，必ず障がいの有無を記入する。

6ヶ月以上療養中又は療養見込みの者の1ヶ月平均療養費を記入する（入院・入所の食費は除く）。

申請前6ヶ月（新入生は入学前1年）以内に受けた、日常生活を営むために必要な資材（住宅，衣類，家具等）や生活費を得るための基本的な生産手段（田畑，店舗等）の被害について，その年月日及び内容を簡潔に記入し，将来長期にわたって支出増又は収入減となる年間金額を記入する。
（保険・損害賠償等によって補填された金額は除く）（千円未満切捨て）

学資負担者が別居のため特別に支出している住居費・光熱水費・家具・家事用品の1ヶ月平均金額を記入する。

□色の欄に記入または丸で囲むこと。**太枠の欄に記入すること。**

収入状況

受験番号			○	○	○	○	申請者氏名	鹿屋　花子

		本人（千円）	父（千円）	母（千円）	（祖父）（千円）	（祖母）（千円）	（姉）（千円）	（　）（千円）	備考
給与収入（注1）	給料・賃金（賞与含む）						1,200		
	役員報酬（賞与含む）								
	専従者給与								
	年金・恩給				432	なし			
	失業給付金								
	生活保護費								
	児童手当 児童扶養手当								
	計		0	0	432	0	1,200		

（注１）給与収入は、前年１年間の収入金額（源泉徴収票の支払金額等）を記入すること。（千円未満切捨て）

			本人（千円）	父（千円）	母（千円）	（祖父）（千円）	（祖母）（千円）	（姉）（千円）	（　）（千円）	備考
給与収入以外の所得（注2）		商業			300					
		工業								
		農林業				150				
		水産業								
	その他雑所得	家賃								
		地代								
		利子・配当								
		内職								
		親戚等からの援助								
		個人年金				120				
	臨時所得	退職金								
		保険金								
		資産譲渡所得								
		山林所得								
	計				300	270				

（注２）給与収入以外の所得は、前年１年間の収入金額から必要経費を控除した額を記入すること。（千円未満切捨）

年金振込（改定）通知書の年金金額から1年間の受給額を記入する。60歳以上で受給がない場合は必ず「なし」と記入する。

申請時現在受給している場合のみ、その受給金額（見込額）を算出し，記入する。

申請時現在受給している場合のみ，平成29年中に受けた受給総額を記入する。平成29年の途中以後から受給した場合は，それまでの受給額から1年間の受給見込額を算出し記入する。

その他の職業はこの欄に記入する。

前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を所得金額として記入する。なお，確定申告を行っている場合は、確定申告者等の所得金額又は市区町村長発行の所得証明書（前年の所得が証明されている場合のみ）の所得金額を記入する。源泉徴収票が発行されている場合は「給与収入」欄に記入する。

個人年金は給与外所得欄に記入する。ただし、源泉徴収票が発行され

申請前6ヶ月以内の収入金額から公租公課等の経費を控除した金額を記入する。

『収入状況調書』記入上の注意

（様式例：給与所得の源泉徴収票）

平成２９年分　給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所		氏名	
種別	支払金額	給与所得控除後の金額		
	円	円		

この金額を「給与収入」欄に記入する

給与・賃金（パート収入を含む。）、役員報酬、専従者給与欄は、前年の源泉徴収票の支払金額又は市区町村長発行の所得証明書（前年の所得が証明されている場合のみ）の収入金額等を記入する。平成28年又は平成29年の途中で就職又は転職した者については、別紙様式「給与等支払（見込）証明書」を基に年間の所得見込額を記入する。

該当する金額を「給与収入以外の所得」欄に記入する。

平成29年分の確定申告等の所得金額（様式例参照）又は市区町村長発行の所得証明書（前縁の所得が証明されている場合のみ）の所得金額を記入する。平成29年又は平成30年の途中で開業又は転業した者については、「収支決算報告書」に記載した金額を基に、年間の所得見込額を記入する。